

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○多様な学習活動の充実
主な取組	青少年教育施設の運営充実		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・県民が地域の自然環境、歴史、文化等に親しみ、本県の魅力に対する認識を深め、その地域における課題等について主体的に学べるよう支援するため、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実、社会教育指導者等の資質向上等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
図書館未設置町村において図書館機能をもつ社会教育施設の整備に向けた機運を醸成する。	県	図書館機能をもつ社会教育施設等の整備		
		図書館機能をもつ社会教育施設等の設置市町村数(累計)		
		1市町村(27市町村)	1市町村(28市町村)	2市町村(30市町村)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
社会教育関連施設等で一括貸出等のサービスを継続して実施するとともに、各教育委員会に対して既存施設への図書館機能整備に向けた支援を行った。				社会教育関連施設等で一括貸出等のサービスを継続して実施するとともに、各教育委員会に対して既存施設への図書館機能整備に向けた支援を行う。		

活動指標名	図書館機能をもつ社会教育施設等の設置市町村数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	27市町村	28市町村	28市町村	1市町村 (28市町村)	100.0%	順調	県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。また、既存施設への図書館機能の整備に向けた情報提供を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを等を社会教育施設で継続的に行う事で図書館未設置町村の読書環境の充実を図った。活動実績が目標値を達成しているため進捗状況は順調とした。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○WebサイトだけでなくSNSも活用した広報活動を充実させる。                  ○防災センターなどの設置時に図書館機能を加える助言を行う (久米島町などの事例紹介)</p>	<p>各教育事務所の社会教育主事と連携したことで図書館未設置町村の多い地域での「沖縄県子ども読書指導員」が活用されるようになった。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	移動図書館の広い世代への周知が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	WebサイトだけでなくSNSも活用した広報活動を充実させる。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	図書館未設置町村に図書館機能を持つ社会教育施設等がない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	防災センターなどの設置時に図書館機能を加える助言を行う (久米島町などの事例紹介)

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○多様な学習活動の充実
主な取組	社会教育指導者研修会		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・県民が地域の自然環境、歴史、文化等に親しみ、本県の魅力に対する認識を深め、その地域における課題等について主体的に学べるよう支援するため、学校・地域における自然体験学習や読書活動等の多様な学習活動の充実、社会教育指導者等の資質向上等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の社会教育指導者が一堂に会し、地域づくりや地域活性化に向けた実践的な取り組みに対する成功事例を学び、社会活動と社会教育行政を推進する。	県	多様な学習活動を支える社会教育指導者の養成		
		研修会の開催数(累計)		
		7回	7回(14回)	7回(21回)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—□

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 社会教育研究大会				予算事業名 社会教育研究大会		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	直接実施	199	199	県単等	直接実施	388
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県大会を令和5年6月9日に開催した。行政説明と市町村事例報告（宮古地区）、講演を行った。				県大会を令和6年6月7日に開催予定。行政説明と市町村事例報告（島尻地区）、講演を行う予定。		

活動指標名	研修会の開催数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	3回	8回	8回	7回（14回）	100.0%	順調	県大会を開催し、行政説明と市町村事例報告（宮古地区）、講演を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

研修会開催数は、計画値7回に対して実績値8回である。県大会1回、地区大会7回開催した。これからの時代における社会教育の重要性や先進的事例を学ぶ機会になった。動画の視聴者のスキルやモチベーションのアップにつながったと考える。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内やほか県の先進的事例や活動体制等について情報を共有する。県や市町村の社会教育委員や社会教育主事が連携し研究会を行う。</li> <li>○ 対面だけでなくオンラインやハイブリッドのいずれの方法でも開催ができるよう、Zoomや関連ソフトのスキル向上を課内で図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栃木県総合教育センター生涯学習部長井上昌幸氏を講師として、「今こそ社会教育が果たす役割とは」と題して講演をする。社会教育関係者の役割を学び、これからの社会教育の方向性を考える機会となった。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育主事や社会教育委員は社会教育を推進する上で重要な役割を担っており、課題解決に向けて主体的に取り組むための資質・能力（ファシリテーション・コーディネート力）が求められている。</li> </ul>	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内やほか県の先進的事例や活動体制等について情報を共有する。県や市町村の社会教育委員や社会教育主事が連携し研究会を行う。</li> </ul>
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の中には社会教育活動の停滞があり十分に機能していないところがある。各地区の取り組み状況を発表する機会を設定しほか事例に学び調査や建議に向けたプロセスを習得する必要がある。</li> </ul>	⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面だけでなくオンラインやハイブリッドのいずれの方法でも開催ができるよう、Zoomや関連ソフトのスキル向上を課内で図る。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○社会教育施設の学習環境の充実
主な取組	図書館機能を持つ社会教育施設の整備促進		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、公民館、図書館、青少年教育施設等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
既存の公民館等に図書室整備を推進するとともに、公民館等社会教育施設に図書室を設置している町村を訪問し、機能の整備・充実が図られるよう支援する。	県,市町村	公民館等図書室の整備		
		図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率		
		46%	54%	70%
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
一括貸出等のサービス実施や横断検索システムの導入に取り組んだ。				引き続き一括貸出等のサービス実施や横断検索システムの導入に取り組むとともに、既存施設への図書館機能整備を促進する。		

活動指標名	図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	33.4%	33.4%	33.4%	54%	61.9%	やや遅れ	県立図書館の移動図書館、一括貸出、協力貸出サービスを図書館未設置町村の社会教育関連施設において実施した。また、横断検索システムを導入するなど、既存施設への図書館機能の整備促進を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県立図書館の貸し出しサービスを実施する事で、図書室整備に向けた気運を醸成できた。活動指標である図書館未設置町村における公民館等図書室の整備率の達成割合は61.9%となっており、各図書館未設置町村に公民館への図書室設置に関する事例等の情報が十分に共有できていないため進捗状況はやや遅れとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 既存施設でのサービス受入について支援するとともに、公民館等社会教育施設以外にも、地域住民への一般開放している学校図書館の活用など幅広く検討し、情報提供する。	・与那国町の公民館図書室の資料等を必要とする町村へ情報提供した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	図書館機能を持つ、または移動図書館の受入ができる公民館等の施設のない町村がある。	① 執行体制の改善	既存施設でのサービス受入について支援するとともに、公民館等社会教育施設以外にも、地域住民への一般開放している学校図書館の活用など幅広く検討し、情報提供する。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	図書館未設置町村の公民館への図書室設置に関する十分な情報が伝わっていない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	図書館未設置町村へ公民館の図書室設置例 (与那国町) の情報提供を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	①多様な学習機会の創出及び提供
			施策の小項目名	○社会教育施設の学習環境の充実
主な取組	青少年教育施設の整備		対応する成果指標	公民館等の利用者延べ人数
施策の方向	・幅広い世代の住民が交流し、その地域の身近な学習の場として多様なニーズに応えられるよう、公民館、図書館、青少年教育施設等の地域コミュニティの核となる社会教育施設の学習環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内6カ所の青少年教育施設において危険箇所や施設の運営に影響を及ぼす箇所の修繕及び老朽化した設備や備品等を更新する。	県,市町村	施設や設備等の整備による県立青少年の家の環境改善		
		環境改善を図る施設数(内訳)		
		6施設	6施設(継続6施設)	6施設(継続6施設)
担当部課【連絡先】	教育庁生涯学習振興課	【 098-866-2746 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 青少年教育施設営繕事業				予算事業名 青少年教育施設営繕事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		当初予算額
		県単等	直接実施	11,682	10,393	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
石垣青少年の家（管理棟）耐震改修工事設計や宮古青少年の家呼水槽取替修繕を実施した。その他施設についても厨房備品等の整備を行った。				石垣青少年の家（管理棟）耐震改修工事や石垣青少年の家（体育館）耐震改修工事設計を実施する。また各施設の老朽化した箇所の修繕を行う。		

活動指標名	環境改善を図る施設数（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	6施設	6施設	6施設	6施設（継続6施設）	100.0%	順調	耐震改修工事設計や非常放送設備更新工事を実施した。また、厨房備品等の更新を行い、台風等で被害を受けた施設の修繕を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>青少年の家の老朽箇所の修繕及び老朽化した設備や備品等の更新を行う事で、県立青少年の家の環境改善が図られた事から進捗状況は順調とした。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○工程会議等への参加、受注業者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分は、県の土木建築部と連携し、技術面の指導及び協力を得る事で工事を円滑に進める。 ○指定管理者へ工事に関する情報共有を行い、問題が発生した場合は迅速且つ柔軟な対応を行う等、運営に支障が生じないよう指定管理者、県関係者、工事受注業者と連携を密にする。 ○工事区域と利用者用区域の明確な区画分け等安全対策を徹底する。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めるとともに、利用申込時に丁寧な説明を心がける等利用者の理解を求める。</p>	<p>○工程会議等への参加、受注業者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分は、県の土木建築部と連携し、工事を円滑に進めた。 ○指定管理者へ工事に関する情報共有を行い、連携を密にする事で、運営に支障が生じないよう柔軟な対応ができた。 ○工事区域と利用者用区域の明確な区画分けにより等安全対策を徹底した。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めた。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	大規模改修工事は通常の修繕と異なり、建築、設備等複数の工事を同時に長期間実施するため工程管理や施工方法の検討等専門的な知識が必要となる。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	改修工事期間中、断水等の理由により、完全に施設を閉所し利用者の受入を停止する期間が生じる。その場合、指定管理者の運営計画に支障を来さないよう配慮が必要。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	施設利用者を受入ながら改修工事を実施するため、利用者の安全確保が課題となる。また、工事の進捗によって、利用時間や活動プログラムが制限される可能性があり、利用者の理解を得る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	工程会議等への参加、受注業者への技術的指導等、専門的な知識が必要な部分は、県の土木建築部と連携し、技術面の指導及び協力を得る事で工事を円滑に進める。
② 連携の強化・改善	指定管理者へ工事に関する情報提供を行い、問題が発生した場合は迅速且つ柔軟な対応を行う等、運営に支障が生じないよう指定管理者、県関係者、工事受注業者と連携を密にする。
⑦ 取組の時期・対象の改善	工事区域と利用者用区域の明確な区画分け等安全対策を徹底する。また、施設ホームページ等を活用し利用者への周知に努めるとともに、利用申込時に丁寧な説明を心がける等利用者の理解を求める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	組踊等教育普及啓発事業		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
組踊、琉球舞踊、琉球歌劇等の本県独自の無形文化財について、鑑賞機会の少ない県内の児童生徒を対象に公演およびワークショップを実施する。	県	組踊・沖縄伝統芸能の実演家によるワークショップの開催		
		組踊・沖縄伝統芸能ワークショップの実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/madoguchi/soshiki/bunkazai/index.html">https://www.pref.okinawa.jp/edu/bunkazai/madoguchi/soshiki/bunkazai/index.html</a> □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業		予算事業名		組踊等沖縄伝統芸能普及啓発事業
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	1,828	1,561	県単等	委託	1,561
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
沖縄本島全地域の小中学生対象に伝統芸能のワークショップを3回実施し、郷土の文化財への理解と関心を深めさせる。				沖縄本島全地域の小中学生を対象に伝統芸能のワークショップ(体験型学習)を3回実施し、郷土の文化財への理解と関心を深めさせる。		

活動指標名	組踊・沖縄伝統芸能ワークショップの実施回数(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	3回	3回	3回(6回)	100.0%	順調	ワークショップを計画通り3回実施した。内訳は組踊ワークショップは3校3回(小学校2、小中学校1)である。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

当初の計画通り、年間で沖縄県内の小中学校3回公演の目標値を達成したため、順調である。小中学生それぞれに対応した体験型学習(ワークショップ)の効果がみられる。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 解説と体験活動のバランスを再調整する。セリフの唱えなど新型コロナウイルス感染症対策で、できなかった体験活動を組み込むなどの工夫をする。	○セリフの唱えなどの体験活動を組み込んだ結果、ワークショップの内容が充実したものになった。児童も積極的にワークショップに取り組んでいた。 ○琉球古語については、教員出身の出演者が口頭でわかりやすく説明するなど臨機応変に対応した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	セリフの唱えなどの体験活動を組み込んだ結果、ワークショップの内容が充実したものになった。児童も積極的にワークショップに取り組んでいた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	新型コロナウイルス感染症が収束してきたため、解説と体験活動のバランスを重視したい。体験活動を通して児童生徒が意欲的に取り組めるようにする。具体的にはセリフの唱えやすさ、足体験、音楽体験等を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	文化振興事業費		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内有数の芸術団体による舞台芸術鑑賞機会を県内へき地・離島の児童・生徒に提供する。校区や地域、広くは県内・県外に在住する芸術家や技能保持者等を学校に派遣する。	国,県	児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供		
		芸術鑑賞実施校数(累計)		
		70校	70校(140校)	70校(210校)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄県芸術鑑賞機会提供事業				予算事業名 沖縄県芸術鑑賞機会提供事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	735	551	県単等	委託	551
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
文化庁による鑑賞機会提供事業を実施。また、県事業において、離島・へき地での公演を実施予定。				文化庁による鑑賞機会提供事業を実施。また、県事業において、離島・へき地での公演を実施予定。		

活動指標名	芸術鑑賞実施校数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	99校	116校	84校	70校 (140校)	100.0%	順調	文化庁、県、市町村との共催により芸術鑑賞やワークショップ等を実施した。また、離島・へき地の児童生徒に芸術鑑賞提供するため、バレエ鑑賞会を伊是名村立伊是名小学校・伊是名中学校において2公演実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

各教育委員会との連携を図り、本事業を周知し、鑑賞校数は目標値を達成し、進捗状況は順調である。□

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○・学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。</li> <li>○・過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○応募数の少ない市町村に応募を呼びかけた。</li> <li>○県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、新たな学校に応募できるよう支援を行った。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	本県は、学力向上対策が最重要課題であり、このため各学校とも授業時数の確保等が優先される傾向が見られる。	② 連携の強化・改善	学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	他県に比べても離島が多いことなどから、準備に要する時間や移動時間がかかるため開催回数が限られ、芸術文化に触れる機会がまだまだ足りない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○文化芸術に対する豊かな感性の醸成
主な取組	青少年文化活動事業費		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化芸術をはじめ、国内外の優れた文化芸術に触れる機会や表現する場等を提供し、子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、高等学校文化連盟が行う派遣費助成への補助を行うことで、文化活動の発表の場を確保するとともに、各分野の技術向上と充実を図ることを目的とする。□	県	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助		
		中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数(累計)		
		2,000人	2,000人(4,000人)	2,000人(6,000人)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	<a href="https://www.okikoubunren.com/">https://www.okikoubunren.com/</a> 、 <a href="http://o-chubun.chu.jp/">http://o-chubun.chu.jp/</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 青少年文化活動事業費				予算事業名 青少年文化活動事業費		
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
県単等	補助	17,982	15,878	県単等	補助	15,778
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟へ補助し、生徒の文化活動を支援した。感染症対策を講じ県内外の大会を開催した。□				県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟へ補助し、生徒の文化活動を支援する。また各種大会など発表の場を確保し、各分野の技術向上を図る予定。		

活動指標名	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	656人	1,743人	1,929人	2,000人 (4,000人)	96.4%	順調	文化活動の発表の場を確保するとともに各分野の技術向上を図るため、県中文連及び県高文連の強化費、大会運営費、派遣費に関する補助を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県外大会や県内大会への離島生徒の大会派遣費の補助について継続的な支援を行った。県中学校総合文化祭や県高等学校総合文化祭は感染症対策を講じて開催することができた。□

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○中文連においても高文連同様、共催大会を派遣補助対象大会として拡大を図り、保護者の経済的な負担を軽減するために引き続き支援を行う。 ○県高校総合文化祭等への参加者数を増やすために高文連と連携し、楽器等の運搬費補助について、継続して支援を行う。	○中文連において、共催大会を派遣補助対象大会として拡大を図り、保護者経済的な負担を軽減するために支援を行った。 ○県高校総合文化祭等への参加者数を増やすために高文連と連携し、吹奏楽や郷土芸能部門等の運搬費補助について継続して支援を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	離島生徒の参加については、県内大会そして県外大会と航空機や船等の利用が必須のため保護者の経済的負担が大きい。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	県高校総合文化祭等への参加者数を増やすために文化連盟と連携し、吹奏楽部門等の運搬費補助について継続して支援を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア 地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
		施策の小項目名	○「しまくとぅば」の普及促進
主な取組	しまくとぅば学習活動の実施 (高等学校)	対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化の基層となる「しまくとぅば」の普及促進に向けて、小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
高等学校におけるしまくとぅば学習の推進および関連する情報の周知を図る。	県	高等学校におけるしまくとぅば学習活動の推進及び関連する情報の周知		
		高等学校の教育活動におけるしまくとぅばに関連する学習活動の実施状況の割合		
		60%	63%	66%
担当部課【連絡先】	教育庁県立学校教育課	【 098-866-2715 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>教員に対し、しまくとぅば普及センターのコーディネーターの協力を得て、沖縄県立総合教育センターで「うちなーぐち実践指導講座」を実施した。</p>				<p>教員に対し、しまくとぅば普及センターのコーディネーターの協力を得て、沖縄県立総合教育センターで「しまくとぅば実践指導講座」を実施する予定。</p>		

活動指標名	R5年度					進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
高等学校の教育活動におけるしまくとぅばに関連する学習活動の実施状況の割合							
実績値	57.4%	77.9%	69.1%	63%	100.0%	順調	国語科や音楽科等の授業、総合的な探究の時間や特別活動等において、しまくとぅばに関する学習活動に取り組んだ。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標を上回る69.1%の学校でしまくとぅばに関する学習活動が実施され、生徒がしまくとぅばを学ぶ機会が確保されており、進捗状況は順調である。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ しまくとぅばを系統的に指導できる教員を育成するため、しまくとぅば普及センター等と連携して「うちなーぐち実践指導講座」を開催し、教員の資質向上を図る必要がある。</p> <p>○ 生徒自らが「しまくとくば」に関連した課題を設定して学習に取り組む探究的な学習や特別活動などを推奨し支援する。</p>	<p>しまくとぅば普及センターと連携し、沖縄県立総合教育センターにおいて「うちなーぐち実践指導講座」を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内各地域において話される多様なしまくとぅばを系統的に指導できる教職員が減少している。
⑦ その他(改善余地の検証等)	高等学校は広範囲な地域の生徒が在籍するため、特定の地域の「しまくとぅば」を教えることは難しい。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	しまくとぅばを系統的に指導できる教員を育成するため、しまくとぅば普及センター等と連携して「しまくとぅば実践指導講座」を開催し、教員の資質向上を図る必要がある。
⑧ その他	生徒自らが「しまくとくば」に関連した課題を設定して学習に取り組む探究的な学習や特別活動などを推奨し支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(1)-ア	地域を知り、学びを深める環境づくり	施策	②地域の歴史、文化、芸術に触れる機会の充実
			施策の小項目名	○「しまくとぅば」の普及促進
主な取組	しまくとぅば学習活動の実施（小学校・中学校）		対応する成果指標	学校公演鑑賞後に組踊・沖縄伝統芸能を理解した児童生徒の割合
施策の方向	・沖縄の文化の基層となる「しまくとぅば」の普及促進に向けて、小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
小・中学校の学校教育において、しまくとぅばに関する講話会の開催や、授業等で活用するための地域人材派遣について、「しまくとぅば普及センター」と連携協力する。	県	「しまくとぅば読本」や「しまくとぅばの日」など、しまくとぅば学習活動に関連する情報の周知及び推進		
		学校の教育活動における、しまくとぅばに関連する学習活動の実施状況の割合		
		小学校 84% 中学校 87%	小学校 87% 中学校 89%	小学校 90% 中学校 91%
担当部課【連絡先】	教育庁義務教育課	【 098-866-2741 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>「しまくとうば読本」を総合的な学習の時間等や学校生活での活用促進を図る。読本の活用状況について文化振興課と連携して把握した。</p>				<p>「しまくとうば読本」を総合的な学習の時間等や学校生活での活用促進を図る。読本の活用状況について文振興課と連携して把握する。</p>		

活動指標名	学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施状況の割合		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	82%	82%	96%	小学校 87%	100.0%	順調	各学校でのしまくとうばに関する授業において、「しまくとうば読本」を活用するよう促した。「しまくとうばの日」を周知するとともに、各学校での実践事例等を紹介した。
活動指標名	学校の教育活動における、しまくとうばに関連する学習活動の実施		R5年度				
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	85%	84%	92%	中学校 89%	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>「しまくとうばに関する学習活動調査（令和5年度調査）」において「学習に取り組んだ」「これから取り組む予定」と答えた学校は小学校が96%、中学校が82%であった。また学習発表会やあいさつ、運動会などでしまくとうばを活用した事例等、しまくとうばに親しむ環境づくりができたことから順調とした。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○しまくとうば読本の活用促進と活用状況の事例提供 ○毎年9月18日のしまくとうばの日について小中学校への周知と取組の促進を依頼</p>	<p>・学校の実態に応じ、学校行事やクラブ活動等で「しまくとうば」を取り入れられるよう具体的な取組事例などの情報を提供した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「しまくとうば読本活用状況調査」の結果を踏まえ「しまくとうば読本」の効果的な活用について、学校での利活用が促進されるように検討する必要がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	しまくとうば読本の活用促進と活用状況の事例提供
⑦ その他(改善余地の検証等)	「しまくとうばの日」について、あらためて生まれ育った地域の風土や文化のよさを再認識させるために、今後も情報共有や周知を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	毎年9月18日のしまくとうばの日について小中学校への周知と取組の促進を依頼